

「心にも環境にも正しい自然素材で 人にも環境にもやさしい空間」を

無垢の木と漆喰壁が
つくりだす
あたたかな空間



塗り方次第で
壁の表情もいろいろ

リフォームを数多く手がけるベストホーム。生活空間のセンスアップ、不便や不満の解消、便利機能の導入、住宅機器の取り換えなど、住み慣れた空間をより美しく快適な空間へと変身させるのは得意技です。常に心がけているのは、ただ利便性だけを追求するのではなく、お客様のライフスタイルに合わせて、家族みんなが安心・安全に心地よく暮らせるよう、さまざまなアイデアやプランを提案すること。

そのために今、ベストホームが全社挙げて取り組んでいるのが、人にも環境にもやさしい住環境づくり。「環境・健康・経済性」に配慮し、エネルギーと資源の使用を減らす「環境循環型住宅」を提唱する『むくむくハウス』のコンセプトに共感して、無垢材、漆喰など、いずれは土に還る自然素材を多用する取り組みを積極的に展開。さらに、素材の産地を明確にしています。その一環として、西バイパス店内に、あらたに、“見て、触れて、体感”できる自然素材コーナーを設けました。新築時でなくとも、リフォームの際に自然素材を使うことで、こころとからだにやさしい空間をつくることができるモデルプランです。ぜひ、ご来店いただき、その心地よさをご確認ください。



カラー変化も
楽しい

掘りごたつタイプで
くつろぎ感もアップ

● 塗り壁口ハスウォール（本格漆喰）

地産地消のこだわり自然材料を厳選した漆喰です。岡山県産の高品質の消石灰を原材料とし、つなぎ材は一切使用せず、接着剤には日本海産の海藻のりを使用しています。カラーバリエーションも豊富。



カラーもいろいろ。お好きな色をどうぞ。

ミニ知識

《漆喰壁と珪藻土壁の違い》

- 漆喰は、主成分の消石灰に、空気中の二酸化炭素と結合し強度を増す「気硬性」という性質がありますが、珪藻土には、固まる性質（自硬性）がないため、固め材（化学合成樹脂、セメント、石灰など）を配合して固めることができます。
- 漆喰は、原料である消石灰自身にホルムアルデヒドを無害に分解する作用があり、さらに、調湿性、防カビ・抗菌作用、消臭性、防火性などの特徴があります。一方、珪藻土の特徴として吸湿性が注目されていますが、アルカリ性が低い珪藻土は経年劣化が早く、珪藻土の配合率が高い場合にはカビが発生する原因となっている事例もあります。

● 岡山県産ヒノキ無垢フローリング

美しいツヤのある緻密な木肌と独特の香りで、日本人に最も好まれる木材・ヒノキ。中でも、温暖な気候に育まれた岡山産は、その特徴がひとくわ顯著。足触りがよく、冬でも冷たさを感じません。素足で歩いたり、寝転んだり、その心地よさは抜群です。また、ヒノキは耐久性・耐水性に優れているため、風呂まわり、外装にも広く使われています。



素足が気持ちいいですよ！

● むくむくハウス布クロス

薬剤（難燃薬剤）処理をしていない本物の織物壁紙で、目にも肌にもやさしいのが特徴です。高級感があり、自然素材特有の調湿性能にすぐれています。ビニールクロスのように静電気が発生してホコリやタバコの煙などを吸着しないため、汚れにくく、拭き掃除も不要。破損しにくい上、角の部分から剥がれることもないため長持ち。10年、20年で張り替える必要もありません。

